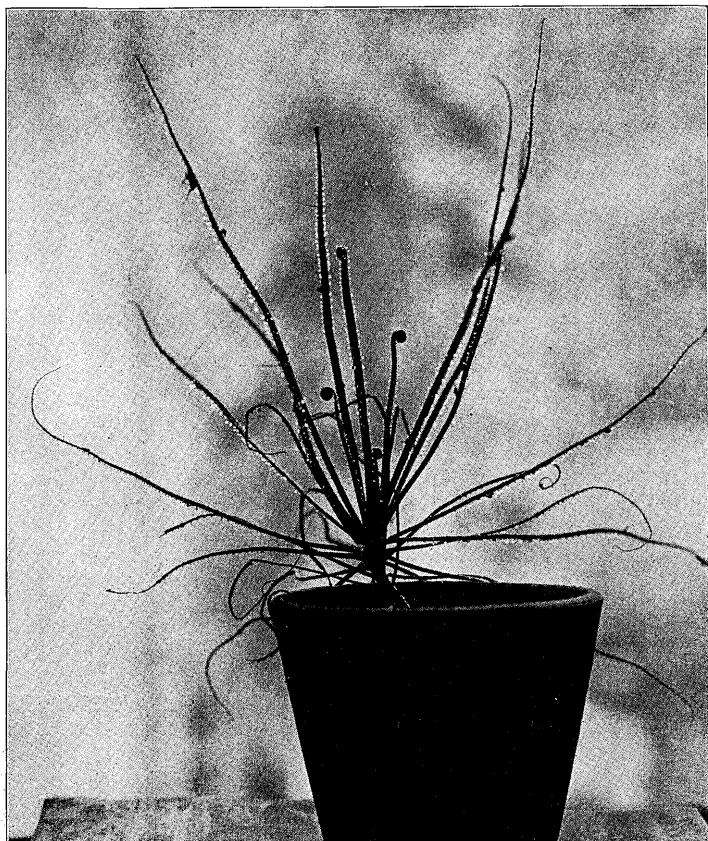


珍貴ナいしもちさうもどき



小石川植物園=培養セラレタいしもちさうもどき

(Drosophyllum lusitanicum LINK.)

(大正十四年十月八日舟曳中齋君撮影)

推贊サレルシ帝大農學部教授
 農學博士原熙先生ハ一度茹デ
 、後「バター」ディタメタモノ
 ハ素適ナ味ダト激賞シテ居ラ
 レル、外國デモ一時ナカナカ
 盛ンデアツタラシク種々ノ書
 ニ色々ノ使用方法ガ書イテア
 ルガ「サラド」ニ良ク「フラ
 イ」、「シチュ」、「ピックル」
 ニ良イトシ身ニ餘ル贊辭ヲ浴
 ピセカケラレテ居ル（大正十
 五年二月八日稿）

○珍貴ナいしもち
 さうもどき

いしもちさうもどき（新稱）
 ハいしもちさう科ノ中デ特ニ
 川植物園 松崎直枝

東京、小石
 川植物園

珍貴ナモノデ何時カラ欲シイト思乍ラ機會ガ來ズニ居タ、所ガ小石川植物園デハ丁度大正十四年三月ニ_{ボル}國_{ガル}コイムブ_ラ植物園カラ種子ヲ送付シテ貴_タノガ播イテカラ二十四日目ニ發芽シタノヲ初メトシテ其後多少發芽シタ、夫レガ今茲ニ掲_グ寫真ノモノデアルガ不幸ニシテ今ハ全ク枯死セシメ其片影ダニ生品トシテ見ル事ガ出來ナク只空シク死兒ノ齡ヲ數ヘルノ愚ヲ學ブニ過ギナイ有様トナッタ、然シ其標本ト寫真トデソノ面影ヲ殘シタバカリデナク又多少ノ栽培上ノ經驗モ得タノヲセメテモノ心ヤリニシテ居ル

元來此草ハ葡國毛氈苔 (Portuguese Sun-dew)

ト呼レテ居ル位_デ葡國ヲ中心トシテ

南イスパニア及ビ北亞弗利加ノモロッコ以外ニハ分布シテ居ラナイモノデアル前記ノ

コイムブ_ラ植物園ハ此草ニトリテハ歴史的ノ處デ此處カラ送リ出サレタ種子カラ萌出

シタモノガ英國キウ植物園デハ千八百六十

二年四月ニ開花シタノデ之レヲ「ボタニカル、マガジン」ノ第五千七百六十九圖版ニ

着色ノ寫生圖ヲ掲_グフ_ツカ_一氏ノ説明ガ加

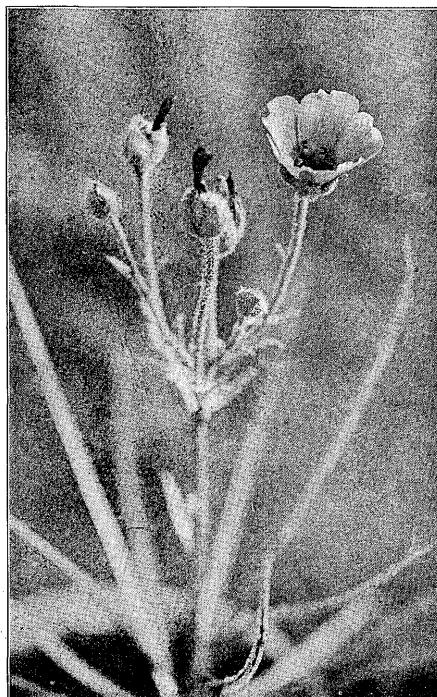
ヘラレテ一般ニ紹介セラレテカラ此歐洲ノ

一角ニノミ生育スル食蟲植物ガ多クノ人ニ

知ラレテ來タ、其學名ヲバ *Drosophyllum lusitanicum* Link. ト稱スル、ダ_一ウ_一ン氏ノ食蟲植物論ノ書ニハ

其捕蟲ノ研究ガ出テ居ル、種名 *lusitanicum* ハルシタニアカラ來タモノデ此ルシタニアハ今日ノ葡國即チ_{ボル}

珍貴ナいしもちやうもどき



花ノ上同

(大正十五年六月二十一日舟曳中衛君撮影)

珍貴ないしもちさうもどき

トガルト今日ノイスパニアノ一部トヲ合セタ古ヘノ國名デアル

植物學上カラハ寫眞デモ見ラレル様ニ其葉ノ外捲スル事ガ特別ノ事項ナノデフツカ一博士モ「植物界唯一ノ例ダ」ト説カレテ居ルノヲ見テモ形態上カラ面白イモノデアラウシ尙其他ノ近縁ノモノデハ葉ノ表面ニ腺毛ヲ持テ粘液物ヲ分泌シテ居ルガ此レハソレ等ニ反シテ葉ノ裏面ニ毛ヲ持ッテ居ル、然シ果シテ素人觀察ノ様ニ夫レガ科學上ノ真ノ裏面デアルカドウカハ自分ノ能ク知ル所デハナイトシテモ只裏面ノ様ニ見受ケラレル事ハ事實デアル、而シテ此粘液ヲ持ツタ毛ハ小花梗ハ言フニ及バズ更ニ萼片ニ迄及ンデ居ル、外觀ハ初メハ一寸北米產ノ絲葉毛氈苔(*Drosera filiformis* R. Br.)ノ様ニモ思ハル、節ガナイデモナイガ次第ニ莖ヲ地上ニ抽キ出スノデ全ク異ツタ趣キニナツテ來ル

線狀葉ノ長サハ五六時内外ニ伸長シ地上カラ二三寸ノ木質莖上ニ叢生スル、葉上ニ生ジテ粘着性物質ヲ出ス小腺毛ハ葉ノ基部ニハ認メナイガ先端マデ密生シテ居リ腺ハ紫色デアル、此腺毛ハ毛氈苔ノ如クニ昆蟲ヲ捕ヘタ後ニ漸次運動ヲ起スヤウナ事ハナイ、此等ノ諸點ハ毛氈苔ナドト異ツテ居ルガ第一其自生地ノ状態モ彼等ハ濕地ニ生ズルニ拘ハラズ此ハ乾燥シタ砂質壤土デシスツス屬ノモノト混生シテ居ルト云フノカラ考ヘテモ其生育ノ状態ガ可ナリ特別デアルモノト見エル、花ハ黃色五瓣ノ美花デアルガ惜イ哉一日限リデ凋ンデシマウ栽培ハ甚ダ困難ダト云フ事ニ從來カラ定評ガアルガ私ノ扱ツタノハ今ハ失ツタニシテモソレヲ開花セシメタダケデモ先ヅ自分トシテハ好結果デアツタト思ツテ居ル、結實ハアツタガ十分ニ肥熟セナカツタセイカ發芽セシメ得ナカツタ、第二回目輸入ノ種子カラハ百幾本ノ苗ヲ作ツタガ此レハ移植後不幸ニシテ總テヲ枯死セシメテ了ツタ苦シイ経験ガアル
今迄内地ニ一度モ輸入シタ事ノナカツタ一珍貴ノ食蟲植物ノ一種ヲ培養シタ紀念トシテセメテ世ノ好事家ノ爲
メニ寫眞ヲ掲ゲテ其眞景ヲ掬シテ貰ヒタイト思フ